



士別市朝日町の沿革

安政4年(1857)

松浦武四郎が天塩川上流探検(天塩日誌)
朝日町ペンケヌカナンプの地に足跡を残す。

明治38年(1905)

士別村字士別御料地が貸下げになり、開拓が始まる。
「朝日町の開基」

大正2年(1913)

上士別村が士別村から分村独立し、上士別村字奥士別となる。

昭和24年(1949)

上士別村から分村独立し、朝日村となる。

昭和37年(1962)

町制が施行され、朝日町となる。

平成17年(2005)

市町村合併により、士別市朝日町となる。

朝日郷土資料室



資料室「知恵の蔵」展示基本

町民の、町民による、町民のための手作り資料室
(町民一人ひとりの顔が見える資料室)

朝日町開拓百二十余年の歴史資料の展示
(生産財資料、生活財資料の展示)

街づくりの一環に位置付けた資料室
(多目的活動の情報収集と発信地)

所在地 〒095-0401
士別市朝日町中央4038番地
士別市朝日活性化施設
「まなべる」内

朝日郷土資料室

Tel 0165-28-2510

【交通のご案内】



～朝日町へのアクセス～

- 札幌市から車で約4時間
- 旭川市から車で約1時間30分
- JR士別駅から車で約30分

【観覧のご案内】

開室時間 午前10時～12時
午後1時～4時
(12時～1時は閉室)

開室日 毎週月曜日・火曜日
(開室日が祝日と重なる場合は翌日開室)

入室料 無料

問い合わせ先(開室日以外)

〒095-0401 士別市朝日町中央4040番地朝日支所内
士別市教育委員会 地域文化課
Tel.0165-28-2121

天塩川源流地域の自然と文化



左：前天塩岳

右：天塩岳

天塩岳(北見山地の最高峰 標高1557.6m)に源を発する天塩川(全国第4位 全長256km)の広大な源流地域に開拓の鍬が下ろされて、百二十余年、豊かな森林資源と豊穡の土地に恵まれた里山朝日、開拓者の苦勞と努力の跡が、資料室「知恵の蔵」に収蔵・展示されている。



シマフクロウ



クマゲラ



キンセイラン



モイワラン

○ あさひの産業



除草機



木馬 (キンマ)

朝日町で開発されたキンマは、H型をした前櫓と後櫓よりなる小型のバチ櫓で、櫓を連結させて多くの丸太を積載できる利点がある。



○ おかしの暮らし



昭和30年頃の生活用具

